

マンガでやさしくわかる アサーション

日頃の人間関係において、相手と気持ちや考えが一致せず葛藤が起こったとき、率直な気持ちを伝え合うにはどうしたいのでしょうか。

アサーションとは、「自分も相手も大切に自己表現」のことで、マンガでストーリーを追いながら、間にアサーションの視点からの解説が入る構成になっています。主人公の心の成長を追いながら、明日からの具体的な考え方や話し方が見えてきます。

著者：平木 典子  
発行所：日本能率協会マネジメントセンター



ガイドブック 部落差別解消推進法

2016年12月16日に施行された部落差別解消推進法。同法は、「現在もなお部落差別が存在する」ことを認め、「部落差別は許されないものであるとの認識」を明確にし、「部落差別のない社会を実現することを目的」とした画期的な法律です。

本書は、11人の著者がそれぞれの角度から同法について切り込み、その意義や課題、今後の活用のあり方等についてわかりやすく解説しています。

編著者：奥田 均 発行所：解放出版社



人権啓発推進指導員のコーナー

男女格差に思うこと

「性差別は東大も、残念ながら、例外ではない」と祝辞の中で述べた、上野千鶴子名誉教授の発言は、今も記憶に残っている。

この発言の背景のひとつに、世界経済フォーラムの男女格差指数がある。これは、政治、経済、教育、健康の面で男女の格差を総合評価されるものだ。昨年、日本の政治分野は、149か国中125位と男女格差に問題が大きいと評価されている。世界の流れに日本は取り残された感がある。そこで、昨年5月に制定された『政治分野における男女共同参画推進法』がどのように機能していくか期待していた。その試金石となる選挙が統一地方選である。結果は、全国道府県議選で過去最多の女性当選者237名を出したが、定数に占める割合は1割を若干上回る程度だった。福岡市議選も過去最高の女性当選者11名を出したが、定数の2割に届かない。それでも、鹿児島県垂水市では初の女性市議が誕生している。確実に女性議員の増加傾向はみられたわけで、そのことは評価したい。

しかし、なるべく男女の数を均等にしようとして制定された法律である。日本の現状を考えると、生活課題を熟知している女性の政治参画は、大変重要である。次回夏の参院選で、女性議員の誕生が法律の趣旨に沿うか結果を見守りたい。  
(白石)

責められない「配慮不足」

久しぶりに通った病院は、高齢化が一段と進み、外国人患者は珍しくなくなっていた。

「おしっこをこの辺まで探って、トイレにある提出口に置いて…それ済んだら〇番で次の検査を受けて下さいね」。スタッフは、紙コップを手に高齢者に段取りを説明していた。その高齢者は耳が遠いのもあってか、何度も何度も問い直し、ポイントがつかめないでいる。大きな声で丁寧な説明だが、一度の情報量が多過ぎるようだ。センテンスは短く、言葉は簡単にゆっくり——の配慮をすればもう少し伝わりやすいのに…。そう思ったが、100人はいたフロアは慌ただしく、いろんな患者がいて要員もギリギリ。その対応に注文は付けづらい。

別の日、外国人が声を荒げた。「長ーく待ったよ。仕事遅れる」。遅い順番の患者が先に診察したのが不満らしく、彼は事情説明に納得できないまま姿を消した。

で、処方箋薬局でのこと。高齢者の後に自分の名前が呼ばれて着座すると、薬剤師さんは室内によく通る声で説明を始めた。「今回は肝臓の炎症を抑える薬です。毎食後に…」と。恥ずかしくて心の中でぼやいた。「大声で病名言うのは勘弁を。まだ耳遠くないし」。ま、流れの中の対応だし、配慮不足と責められないか。

(蔵本)

CONTENTS 「主な内容」

- ココロセミナー ..... 1P
- 周船寺校区人権尊重推進協議会 ..... 2P
- ココロ映画会 ..... 3P
- 新刊図書の紹介・コラム ..... 4P



ココロセミナー紹介

考えてみませんか? あなたの人権 わたしの人権

ココロセンターでは、さまざまな人権の分野について経験豊富な方々を講師に迎え、人権問題を身近なものとしてとらえていただくための講座を、今年も開催します。

この講座を通して、あなたの身の回りにおけるさまざまな「人権」について、学んでみませんか?

スケジュール

第1回 7/21 日 10:30~12:30 会場:福岡市人権啓発センター 研修室(あいれふ8階)

【テーマ】人権・同和問題の解決をめざして…  
～好感・共感・親近感の人権力を育む～

関西外国語大学 教授(人権教育思想研究所長) 明石 一郎さん

第2回 8/24 土 14:00~16:00 会場:福岡市健康づくりサポートセンター「あいれふ」10階 講堂

【テーマ】児童虐待の取材現場から考える  
～なぜ、SOSは届かないのか～

ルポライター 杉山 春さん

第3回 9/11 水 10:30~12:00 会場:福岡市立中央児童会館「あいくる」7階 集会室

【テーマ】物語の中の人権 ～言葉が育む心～

- ① 親子で楽しむ読み聞かせ「幼児向けおはなし会」(30分)… 絵本やわらべうた等
- ② 大人対象の講話(50分)… お子様は別室でお預かりします。

語りの森 代表 富原 美智子さん

申込方法

電子メールで、①受講希望回、②住所、③氏名、④電話番号、⑤ファクス番号を記載のうえ、お申込みください。  
区役所・市民センター・公民館などにある案内チラシの裏面ファクス申込書やハガキでも申込みできます。

申込み・問い合わせ先

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2丁目5-1 あいれふ8階  
福岡市人権啓発センター ココロセミナー担当  
TEL 092(717)1237 FAX 092(724)5162  
メール jinkenkeihatsu.CAB@city.fukuoka.lg.jp

「ココロセンターだより」No.76 発行：令和元年6月 福岡市人権啓発センター  
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2丁目5番1号健康づくりサポートセンター(あいれふ)8階 TEL092(717)1237 FAX092(724)5162  
E-mail:jinkenkeihatsu.CAB@city.fukuoka.lg.jp

ココロセンター 福岡 検索



TEL092(717)1247(人権啓発相談室では人権問題に関する相談及び、研修会や学習内容に関する相談を受け付けています)

# 人権啓発地域推進組織の取組紹介

## 周船寺校区人権尊重推進協議会

### 今年度のテーマは『外国人の人権』

周船寺校区人権尊重推進協議会は、昭和63年度に設立され、長年にわたって人権に関する研修や活動を実施してきました。その中で、人権に関するキャラクター「こころちゃん」「人尊くん」が生まれ、校区住民の人権に関する意識の向上に活躍してもらっています。また、広報紙「ふれあい」は、年度の行事報告で終わるのではなく、「知ってもらう、気づいてもらう広報紙」をめざして、取材、編集に努めています。住民の皆さんから「改めて人権について考えてみよう、という気持ちになった」というお話を聞くことが多く、ますます責任を感じているところです。

近年は、活動のマンネリ化を克服するために、毎年1つの人権課題を設定し、焦点化した取り組みを進めてきました。30年度は「障がい者の人権」、29年度は「子どもの人権」、28年度は「認知症」というようにテーマを決め、「町別人権ビデオ上映会」、「校区人権を考えるつどい」「サークル研修」などを、同じテーマで実施しました。年度のテーマを「校区全体の課題である」という認識のもとに繰り返し学ぶことで研修効果、啓発効果を高めるように努めてきました。



▲左から、内川公民館長、中尾公民館主事、宮園人尊協副会長、福島人尊協会長



今年度は、校区にお住まいの外国人の皆さんが急増してきたこともあって、「外国人の人権」をテーマにした取り組みを進めていきたいと考えています。

既に、校区文化祭で「外国人のスピーチ」というコーナーを設けるなどの取組も進めています。参加者から「日本人の当たり前が、違ってくこともあることに気づいた」「文化の違いを理解することが大切だ」などの建設的な感想も聞こえてきました。



平成31年度の総会後の研修

今後は、インターネット上の書き込みなど、新たな形態の人権問題も視野に入れながら、お互いの多様性を認め合い支え合う地域社会づくりの一端を担っていきたく考えています。

## ひとりで悩まずにご相談ください 秘密は守ります

- ・いじめ、体罰を受けた
- ・暴行、虐待を受けた
- ・差別を受けた
- ・名誉毀損、プライバシー侵害を受けた
- ・セクシュアル・ハラスメントを受けた
- ・インターネット上で誹謗中傷をされた
- など

**みんなの人権110番**  
ゼロゼロみんなのひやくとおぼん  
☎ 0570-003-110

**子ども人権110番**  
ゼロゼロなのひやくとおぼん  
☎ 0120-007-110

**女性の人権ホットライン**  
ゼロナナゼロのハートライン  
☎ 0570-070-810

インターネットでも相談を受け付けています。  
<http://www.jinken.go.jp/>

インターネット人権相談  検索



福岡法務局・福岡県人権擁護委員連合会

# ココロン映画会

## 上映作品

### ◆きみはいい子◆ (2015年/121分)

学級崩壊、幼児虐待

監督: 呉美保

※字幕あり

### 2013年本屋大賞第4位の同名短編小説集の映画化

真面目だがクラスの問題に正面から向き合えない新米教師や、幼い頃に受けた暴力がトラウマになり、自分の子どもを傷つけてしまう母親など、子どもたちやそれに関わる大人たちが抱える現代社会の問題を通して、人が人を愛することの大切さを描き出す。



©2015 「きみはいい子」製作委員会

## 上映作品

### ◆みんなの学校◆ (2014年/106分)

不登校ゼロ

監督: 真鍋俊永

※字幕あり

### 平成25年度(第68回)文化庁芸術祭大賞 受賞

すべての子どもに居場所がある学校作りを目指す大阪市立南住吉大空小学校の取組を、長期にわたり丁寧に追いつけた教育ドキュメント。そもそも学びとは何でしょう? あるべき公教育の姿とは? 大空小学校には、そのヒントが溢れています。



©関西テレビ放送

## 日時

令和元年7月27日(土)

- 第1回上映 13:00 ~ 15:05 「きみはいい子」
- 第2回上映 15:30 ~ 17:20 「みんなの学校」
- ※12:30 開場(入れ替えなし)

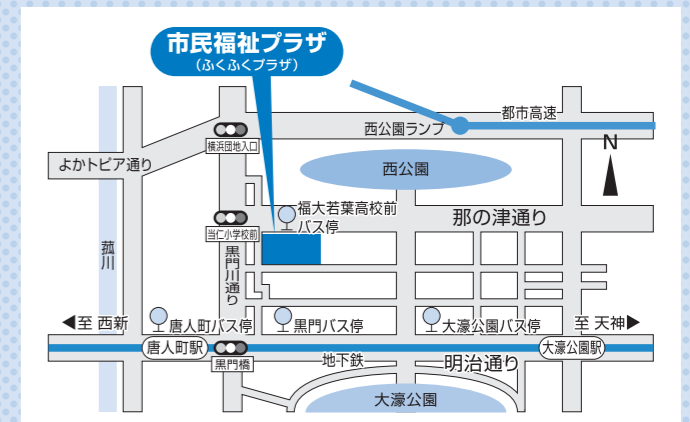
## 会場

福岡市市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)1階 ふくふくホール

福岡市中央区荒戸3丁目3番39号

## 交通案内

- 福岡市地下鉄(空港線)「唐人町」駅 4番出口 徒歩約7分
- 西鉄バス「福大若葉高校前」バス停 下車すぐ
- 「黒門」バス停下車 徒歩約5分



## 定員

各回とも240名(先着順) **入場無料** **事前申込み不要**

※ただし、定員に達した場合は入場できません。

## 問い合わせ先

福岡市人権啓発センター「ココロン映画会担当」

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2丁目5番1号 あいれふ8階

TEL 092-717-1237

FAX 092-724-5162

ココロンセンター 福岡

検索

